

作品について - 石の本 -

読むためではなく、ただ見るだけの石の本。

本ってすごく勉強になるし、知識つくし読むと没頭するけど、読み始めるまでの腰が重い自分がいます。

なので、違うカタチで本を楽しめたらと思い、読めない本を作りました。

「おススメの本何かある？」

「石の本、面白いよ」

そんなおかしな会話が繰り返される事を妄想しながら、日々制作に勤しんでいます。



作品について - 石の瓶 -

生花の飾れない、ドライフラワーを活けるためだけの瓶と、穴すら空いてない石の瓶。

すごく限られた用途の「モノ」は果たして便利なのでしょうか？

用途のあるかたちは、価値があるのでしょうか？

では、私たちがやっている彫刻は無価値なものなのでしょうか？

使えるとは？便利とは？価値とは...？

人それぞれ考え方があってと思います。

作品を通して、いま一度「モノ」について考えるきっかけになればと思います。



作品について - 草っころ -

「草のかたちをした石ころ」を省略して草っころと名付けました。



作品について -フタモノ-

蓋を開けると出てくる料理をイメージした彫刻に蓋をつけた作品です。

持ち主が観ることだけではなく気分や空間の雰囲気に合わせて、作品の観せ方を変えることもできる、置く以外の行為を与える彫刻作品。

食事後の余韻にひそむ静謐の中に心がふわっと温まるような…そんな作品であってほしいと思います。



「フタモノ - アトリエ -」
W170xD210xH150mm
大理石
2022



「フタモノ - 舟 -」
W200xD200xH180mm
大理石
2022



「フタモノ - 休憩 -」
W200xD200xH150mm
大理石
2022



「フタモノ - 灯台 -」
W200xD220xH250mm
大理石
2022